

部落解放研究所おしらせ

部落解放研究第20回全国集会の御案内

平素よりの差別撤廃、民主主義発展にむけた御努力にたいし、深く敬意を表します。さて御案内の通り、来たる十月四日から六日にかけて、「部落解放研究第二十回全国集会」が広島市にて開催されることになりました。「国際平和年」である本年に、広島市で開催される本集会は、同時に、「部落解放基本法」制定にむけた闘いの重要な局面に開催されるものであり、誠に意義深い集会となります。この集会は部落解放同盟をはじめ、多くの諸団体が協力して集會実行委員会を結成し、例年以上の意義ある集會にしよう、準備が進められており当研究所もそれに参加しております。部落問題に関心の多い多数の方々の参加を期待しております。(なお、詳細な開催要綱が必要な方は、部落解放同盟各都府県連または中央実行委員会までお問い合わせ下さい。)

■集會テーマ……全国研究集会二十周年を契機に、国民運動の力で「部落解放基本法」制定を勝ちとることに、完全解放への確かな未来と展望をきりひらこう。

■主 催……部落解放研究第二十回全国集會中央実行委員会
 (部落解放同盟中央本部／部落解放中央共闘会議／佃部落解放研究所／同和問題にとりくむ宗教教団連帯会議／広島同和問題企業連絡会／全国同和教育研究協議会／全国大学同和教育研究協議会／現地実行委員会)

■期 日……一九八六年十月四日(土)・五日(日)・六日(月)

期日	時刻	内容
10月4日	9・00	受付
	10・00	受付
	11・00	受付
	12・00	全体集會
	13・00	分科集會
	17・00	記者会見
	18・00	分科集會打合せ
10月5日	受付	分科集會 昼食
	受付	分科集會
10月6日	受付	総括集會

集會内容と会場

第一日目……………全体集會	(会場名)
11・00 受付開始	広島県立体育館
13・00 閉會	(一万人) 広島市中区基町
17・00 閉會	四一〇 〇〇82 (221) 3440
第二日目……………分科集會(次頁参照)	
第三日目……………総括集會	(会場名)
9・00 受付開始	広島県立体育館
9・30 閉會	広島市中区基町
問題提起「基本法制定にむけて」(各30分)	四一〇 〇〇82 (221) 3440
①国会内での闘いと課題	
②国民運動のひろがり課題	
③部落解放研究をめぐる諸課題	
集會まとめ(15分)	
集會アピール	
閉會	

参加費……四千元

- ① 参加費は、部落解放同盟の各都府県連で一括集約致します。
- ② 一般参加の方は、当該都府県連か、左記のところへ申し込んでください。(当日参加も可能)
- ③ 参加費の振込みは下記のところへお願いします。
 大和銀行 桜川支店 (普通預金) 426304
 部落解放同盟中央本部(全研) 上杉佐一郎

宿泊費

- ① 四千元～一万二千元でA・B・Cランクあり。
- ② 宿泊・昼食の申し込みは左記のところへ。
 〒730 広島市中区紙屋町一丁目二番十七号
 日本交通公社 国内・海外団体旅行広島支店
 (担当：岩田・坂東)

電話082(248)1629

集會についてのお問い合わせ先

- (1) 部落解放研究第二十回全国集會中央実行委員会
 部落解放同盟中央本部
 東京都港区六本木三ー五ー十一 〇〇3(586) 7007
- (2) 部落解放同盟中央本部大阪事務所
 大阪市浪速区久保吉一ー六ー十二 〇〇6(588) 3046

1 部落史研究と部落 解放理論の諸課題	<p>(1) 部落の完全解放の道筋を明らかにする部落解放理論を發展させよう。</p> <p>(2) 部落解放運動への敵対を深めている「国民的融合」論を批判しよう。</p> <p>(3) 戦後四十年の部落解放運動の歩みを明らかにし、差別との闘いの歴史に学ぼう。</p> <p>(4) 広島における、部落史・解放運動史研究の成果に学び、各地域での部落史・運動史研究を前進させよう。</p>	<p>〈基調報告〉 大賀正行 (部落解放研究所)</p> <p>渡辺俊雄 (部落解放研究所)</p> <p>〈助言者〉 寺木伸明 (桃山学院大学)</p> <p>秋定嘉和 (池坊坂大)</p> <p>〈司会者〉 小林茂 (部落解放研究所)</p> <p>中尾健次 (大阪教育大)</p>
2 部落解放と共同闘 争の現状と課題	<p>(1) 各地域における部落解放共同闘争の実態を通して、共同の課題を明らかにしよう。</p> <p>(2) 反差別共同闘争を前進させ、人権擁護の活動を強めよう。</p> <p>(3) 「臨調・行革」、「臨教審」攻撃と対決し、政治の反動化を阻止しよう。</p> <p>(4) 国際平和年を契機に人権・反核・平和の草の根運動を全国にひろげよう。</p>	<p>〈基調報告〉 小森龍邦 (解放同盟書記)</p> <p>〈助言者〉 加藤徹夫 (総研)</p> <p>待鳥恵 (日教組)</p> <p>〈司会者〉 大原将爾 (総研)</p> <p>政平智春 (広研)</p>

3 狭山再審闘争と司 法民主化への闘争	<p>(1) 狭山第二次再審請求の学習を深めよう。</p> <p>(2) 狭山再審闘争の具体的課題を明らかにしよう。</p> <p>(3) 狭山差別裁判の不当性を明らかにし、石川さん無実の真相を全国民にひろげよう。</p> <p>(4) 勤労国民ひとりひとりとって狭山闘争の意味を明らかにし、共同闘争の輪をさらにひろげよう。</p> <p>(5) 相つぐ再審の流れを教訓とし、狭山再審実現の糧としよう。</p> <p>(6) 司法の民主化と、再審の門をひろげるはひろい国民運動をつくり出そう。</p>	<p>〈基調報告〉 吉元成治 (中央狭山闘争本部 事務局長)</p> <p>〈特別報告〉 狭山事件再審弁 護団</p> <p>再審運動関係者 ・学者</p> <p>〈助言者〉 (未定)</p> <p>〈司会者〉 (未定) (増五)</p>
4 差別事件の実態と 糾弾闘争	<p>〈パネルディスカッションの柱〉</p> <p>(1) 糾弾闘争の現状と課題。</p> <p>(2) 最近の差別事件の特徴。</p> <p>(3) これからの差別糾弾の課題。</p>	<p>〈基調報告〉 山口末広 (大阪)</p> <p>大西正義 (解放同盟委員長)</p> <p>田村正男 (朝日新聞社)</p> <p>中川高代子 (奈良教育大)</p> <p>清水宣行 (関西ハイム)</p> <p>伊藤俊彦 (西福会)</p>

	8 部落の生活の現状と課題	7 農漁村部落の現状と課題
<p>(1) 部落婦人の実態を明らかにするとともに部落婦人の要求をまとめよう。 (2) 婦人の共同闘争の現状について交流しよう。 (3) 女子差別撤廃条約と部落婦人のかかわりを明らかにし、条約の具体化をかちとろう。</p>	<p>(1) 今日における部落の生活実態を明らかにする中で、「同対策」答申二十年の総括と、「部落解放基本法」制定にむけての課題を明らかにしよう。 (2) 福祉・社会保障切捨ての「臨調・行革」路線による部落の生活破壊の現状と反撃の方向を明らかにしよう。 (3) 部落の生活保護受給者、老人、障害者、母子家庭等の実態と組織化の方向を明らかにしよう。 (4) いのちとくらしを守る周辺地区住民との共同闘争の方向を明らかにしよう。</p>	<p>(3) これまでの農林漁業関係の同和対策事業を点検し、今日の差別の実態を抜本的に解決するための基本法とその施策の必要性を明らかにする。</p>
<p>〈基調報告〉 野本せつ 〈助言者〉 土井たか子 (衆議院議員)</p>	<p>〈基調報告〉 北山誠一 (解放同盟中核) 〈助言者〉 大津静夫 (部落解放研究所) 楠敏雄 (法律運動幹事) 大谷強 (大阪府立大) 〈司会者〉 木下達夫 (広島) 平沢徹 (大阪)</p>	<p>谷本たかし (名古屋) 石元清英 (部落解放研究所) 竹下義喜 〈司会者〉 伊沢卓士 (高松) 梅田勇 (岡山)</p>

	6 都市部落の現状と課題	5 「部落解放基本法」制定にむけての闘い
<p>(1) 農業・漁業センサスの活用による実態調査結果より、今日の農山漁村の実態を明らかにする。 (2) 農漁協、森林組合による部落問題の取り組みの調査結果より、現状と課題を明らかにする。</p>	<p>(1) 部落実態調査を早急に分析し、都市部落の現状と課題を明らかにしよう。 (2) 要求白書をまとめあげ「部落解放基本法」の内容を深めよう。 (3) 一般周辺地域住民の要求と部落の要求を結合させた闘いを進めるため、地域周辺共同のとりくみを強めよう。 (4) 都市部落における住環境対策に取り組み、住みよい住宅と町づくりを積極的に推進しよう。 (5) 地区内施設の民主的管理を行い、施設を有効に利用し、真に部落解放の拠点にしよう。 (6) 都市部落の現状を明らかにし、地方自治体や、建設省をはじめとした、政府への要求を強化しよう。</p>	
<p>〈基調報告〉 羽音豊 (解放同盟中核) 〈助言者〉</p>	<p>〈基調報告〉 駒井昭雄 (解放同盟中核) 〈助言者〉 三輪嘉男 (大阪市大) 吉田卓司 (四国学院大) 内田雄造 (東洋大) 〈司会者〉 片岡明幸 (埼玉) 新沢数秀 (奈良)</p>	<p>川本勲 (奈良) 〈助言者〉 大原亨 (衆議院議員) 高野真澄 (香川大) 〈司会者〉 中村徹郎 (広島) 塩谷隆弘 (大阪)</p>

<p>12</p> <p>乳幼児の実態と就 学前教育の課題</p>	<p>(1) 部落差別の実態が子どもにどのような影響を与えているのかを明らかにし、めざす子ども像に向けて保育内容の見直しをしよう。</p> <p>(2) 保護者組織を高めるためにどのような活動をしているのか交流しよう。</p> <p>(3) 保育つおしを狙う「行事」「軍拡」「臨教審」路線に反対し、保育条件改善のたたかいをどのように進めているのか交流しよう。</p> <p>(4) 解放運動の担い手に育てるため、地域教育者集団の確立をめざして、どのような取り組みをしているのかを交流しよう。</p>	<p>〈基調報告〉 岡田健吾 (香川)</p> <p>〈助言者〉 鈴木祥蔵 (関西大) 玉置哲淳 (大阪教育大) 〈司会者〉 白須義和 (奈良県解放) 時本みどり (広島)</p>
<p>13</p> <p>子どもの実態と学 校教育の課題</p>	<p>(1) 「臨教審」路線に対決しうる教育実践を明らかにしよう。《</p> <p>(2) 今日の部落の子どもたちの状況を明らかにしよう。</p> <p>(3) 部落の子どもたちがどのように自己形成しようとしているのか明らかにしよう。</p> <p>(4) どういったところで、子どもたちの自立が図られているのかを明らかにしよう。</p> <p>(5) 子どもたちの自己形成の方法が、どう確かめられているのかを明らかにしよう。</p>	<p>〈基調報告〉 中島敏彦 (解放同盟中教)</p> <p>〈助言者〉 梅原達也 (大阪府同教) 桂正孝 (大阪市大)</p> <p>〈司会者〉 荒木康雄 (吉岡教)</p> <p>〈基調報告〉 井戸木一英 (大阪)</p> <p>〈助言者〉 村越末男 (全日大回教)</p> <p>〈助言者〉 中西績介 (衆議院議員)</p>

<p>9</p> <p>部落婦人の現状と 課題</p>	<p>(1) 部落の労働実態を明らかにし、「部落解放基本法」の展望をきりひらこう。</p> <p>(2) 就職差別撤廃運動の現状を明らかにし、ILO111号条約の批准、法的規制にむけた課題を明らかにしよう。</p>	<p>柴山恵美子 (婦人問題研究者)</p> <p>〈司会者〉 丹村末子 (福岡)</p> <p>北山俊乃 (京都)</p>
<p>10</p> <p>部落の労働の現状 と課題</p>	<p>(3) ILO112号条約の趣旨を踏まえ、雇用創出・雇用促進の現状を明らかにし、安定雇用促進にむけた課題を明らかにしよう。</p> <p>(4) 地域別、階層別、コース別に仕事保障の現状を明らかにし、要求のほりおこし、組織化の課題を明らかにしよう。</p>	<p>〈基調報告〉 本多義信 (解放同盟中教)</p> <p>〈助言者〉 吉村励 (奈良産業大)</p> <p>〈司会者〉 宮原勝幸 (広島)</p> <p>梅永茂美 (福岡)</p>
<p>11</p> <p>部落産業の現状と 課題</p>	<p>(1) 答申二十年「特措法」十七年の成果と残された課題を明らかにする。</p> <p>(2) 今日の状況をふまえ、産業振興の今後の課題を明らかにする。</p> <p>(3) 「総合的、抜本的な産業振興対策」の確立にむけ討議を深める。</p>	<p>〈基調報告〉 浅野隆広 (大阪)</p> <p>〈助言者〉 川口正志 (解放同盟会社)</p> <p>鶴嶋雪嶺 (関西大)</p> <p>田中充 (関西大)</p> <p>〈司会者〉 (未定) (広島)</p>

14	15	16
部落の教育実態と 教育(行政・大学) の課題	隣保館(解放会館) 活動の現状	市民啓発の現状と 課題
<p>(1) 部落解放基本法制定闘争における解放会館(隣保館)の役割を明らかにしよう。 (2) 部落実態調査のとりくみを通じて、地域の課題を明らかにしよう。 (3) 啓発意見具申の積極面を活用し、地域及び周辺地域への啓発活動を強化しよう。 (4) 隣保館(解放会館)におけるとりくみを交流しよう。</p>	<p>(1) 差別意識の現状と啓発効果を分析し、課題を明らかにしよう。 (2) マスコミ・文化・社会教育のとりくみの方向を明らかにしよう。 (3) 地域における人権草の根運動の意義と方向を明らかにしよう。</p>	<p>(1) 職場啓発を推進するための内容創造と体制整備の方向を明らかにしよう。 (2) 各地の実践を交流し合い、今後の職場啓発の充実をはかろう。 (3) 部落差別の実態を踏まえ、部落解放基本法制定に向けた企業の社会的責任を明らかにしよう。</p>
門田 秀夫 (全国教) 海老原 治善 (東京学芸大) 〈司会者〉 上田 誉志美 (関西大) 前川 実 (部落解放研究所)	〈基調報告〉 山口 富造 (兵庫) 〈助言者〉 原野 宗任 (解放同盟統制委員 長) 〈司会者〉 浮穴 正博 (大医) 楠木 克弘 (奈良)	〈基調報告〉 元木 健 (大阪大) 橋川 真彦 (宇都宮大) 〈助言者〉 岩田 直二 (廣田家) 田結壮 哲治 (部落解放研究所) 林 力 (九州造形短大)

18	17	
部落差別問題と宗 教者の課題	職場啓発の現状と 課題	
<p>(1) 宗教団体は部落差別問題解決のためにどのような取組みをしてきたか。 (2) 宗教団体のとり組みの成果はどのような形となつてあらわれているか。 (3) 宗教者自身の個人的課題として部落差別問題が何を提起しているか。 (4) 宗教者の部落差別問題解決への今後の展望と問題点は何か。</p>	<p>(1) 職場啓発を推進するための内容創造と体制整備の方向を明らかにしよう。 (2) 各地の実践を交流し合い、今後の職場啓発の充実をはかろう。 (3) 部落差別の実態を踏まえ、部落解放基本法制定に向けた企業の社会的責任を明らかにしよう。</p>	
〈基調報告〉 小野 一郎 (同宗連) 〈助言者〉 松根 肇 (部落解放研究所) 小野 一郎 (同宗連) 蓮池 瑞旭 (同宗連) 〈司会者〉 泉 十次 (同宗連)	〈基調報告〉 吉田 勝夫 (愛知) 〈助言者〉 香野 貞人 (部落解放研究所) 〈司会者〉 広島同和問題企 業連絡会 東京同和問題企 業連絡会	〈司会者〉 森下 冷蔵 (鳥取) 加藤 敏明 (部落解放研究所)

20	19
<p>私のおいたちと解放への願 — 識字運動の現状と課題 —</p>	<p>部落解放を闘う文化の現状と課題</p>
<p>(1) 全国の識字運動の現状を明らかにし、部落解放基本法制定の武器にしよう。 (2) 奪われた文字を奪い返し、新しい文化を創造する識字運動の意義について考えよう。 (3) 今後の識字運動の実践と方向について見定めよう。</p>	<p>(1) 文化の視点から、生活を見直し、部落解放にむけた闘いを摸索する。 (2) 部落の伝承、伝統を大切にし、再創造を目指す。 (3) 各地からの文化活動の交流をはかる。 ※特別報告として、沖縄・読谷村より反基地おこしをドッキングした創造的文化村構想を提起してもらおう。</p>
<p>〈基調報告〉 向井 正 (解放同盟中執) 〈助言者〉 内山 一雄 (天理大) 小沢 有作 (東京都立大) 〈司会者〉 岡本 次男 (国際仏教大) 山中 米子 (大阪)</p>	<p>〈基調報告〉 寺本 知 (解放同盟顧問) 〈特別報告〉 読谷 村 (沖縄) 〈助言者〉 土方 鉄 (解放新聞社) 溝口 正義 (大阪) 〈司会者〉 村田 拓 (大阪) 山崎 智 (三宅)</p>